

2016年度の天理参考館の展覧会を裏面にご紹介します。

大和の名所を巧みに描いた絵図や、昔懐かしい東北故郷の玩具など、わが国の繊細で奥深い民俗文化や、日本人が憧れてやまない西域の香り漂う考古資料など、興味あるテーマを取り上げます。参考館は天理大学の付属施設ですが、地域に開かれた博物館として、今年も多数のご来館をお待ちしております。

顧問 松田真一

## 2016年度 企画展・新春展

### 第76回企画展

「大和名所絵図めぐり - 一枚刷りに見る、ふるさとの風物 - 」

会期：4月13日(水)～6月6日(月)

### 第77回企画展

「天理サファリランド - シルクロードの動物と動物意匠の世界 - 」

会期：7月6日(水)～9月5日(月)

### 第78回企画展

「東北地方の玩具たち - 東日本大震災を忘れない - 」

会期：10月8日(土)～11月27日(日)

### 2017年新春展

「紙で遊ぶ世界 - 折紙とおもちゃ絵 - 」

会期：2017(平成29)年1月5日(木)～2月27日(月)

## トーク・サンコーカン(公開講演会) 記念講演会・企画展・新春展等

◆時間：午後1時30分～ ◆会場：研修室 ◆受講料：無料(ただし入館料が必要) ◆定員：100名(当日先着順)

開催日	タイトル	講師
4月23日(土)	江戸時代の旅と大和	天理大学教授 谷山 正道 氏
5月28日(土)	一枚刷りで巡る大和の名所	学芸員 中谷 哲二
6月11日(土)	綿に親しむ	H.A.M.A木綿庵代表 梅田 正之 氏
6月24日(金)	イスラエルの考古学 - 過去と現在 -	天理大学教授 桑原 久男 氏
6月25日(土)	ササン朝ペルシアの帝王が狩猟する記 - 獅子・豹・猪 -	学芸員 巽 善信
7月 9日(土)	騎馬民族の動物意匠 - 秦漢帝国との対峙の中で -	天理大学教授 小田木治太郎 氏
7月23日(土)	シルクロードの動物と動物意匠の世界 - 企画展にあわせて -	学芸員 日野 宏
9月17日(土)	テル・レヘシュ遺跡を掘る - アナハラトを探せ -	天理大学准教授 橋本 英将 氏
9月24日(土)	天皇陵の歴史	学芸員 藤原 郁代
10月22日(土)	台湾の七夕行事 - 成人式と紙製供物を中心に -	学芸員 中尾 徳仁
11月26日(土)	みちのくのこけし	学芸員 幡鎌 真理
1月28日(土)	折紙あれこれ	折紙研究家 竹村 菊郎 氏
2月25日(土)	おもちゃ絵考	元関西大学教授 肥田 皓三 氏
3月18日(土)	ヒンズー神話の神がみとその造形	学芸員 早坂 文吉

企画展  
講演会

企画展  
トーク

企画展  
講演会

スポーツ  
講演会

企画展  
トーク

企画展  
講演会

企画展  
トーク

スポーツ  
講演会

トーク

トーク

企画展  
トーク

新春展  
講演会

新春展  
講演会

トーク

## 第76回企画展

# 「大和名所絵図めぐり ― 一枚刷りに見る、ふるさとの風物 ―」

会期：4月13日(水)～6月6日(月)

天理参考館が所蔵する江戸期から明治期にかけての日本各地の名所・寺社を描いた一枚物の刷物(一枚刷り)から、今回は大和(奈良)地方のものを集めてご紹介いたします。

古くから旅客の誘致に意を尽くしてきた、大和各地の名所・寺社の布教・宣伝活動の軌跡の一端を、様々な一枚刷りを通してご覧いただけます。

また、伝統的な印刷技術である木版印刷の技を、より身近なものに感じていただく機会のひとつとなることを期しました。名所・寺社の景観や境内・本尊・宝物などを案内する一枚刷りを、大和の北から南へと縦覧いただき、ひととき、ふるさとの風物の移り変わりに触れていただければ幸いです。



小刀屋善助引札 明治15(1882)年  
木版色刷

## 第77回企画展

# 「天理サファリランド ― シルクロードの動物と動物意匠の世界 ―」

会期：7月6日(水)～9月5日(月)

漢・唐代の動物俑(人形)をはじめとして、西アジアから東アジアに亘る動物(牛、馬、羊、犬、鹿、豚、豹、ラクダなど)に関連した多数の考古資料を展示します。

中国北方騎馬民族の動物意匠の飾金具(右写真)やシルクロードを往来したラクダの俑、イランの帝王狩猟文銀皿など様々な展示品から、動物と人々の関わりをご覧いただけます。



青銅三鹿文帯金具  
(中国北辺・後漢)

## 第78回企画展

# 「東北地方の玩具たち ― 東日本大震災を忘れない ―」

会期：10月8日(土)～11月27日(日)



土湯系こけし(福島県) 佐久間虎吉、阿部治助 他製作 明治から昭和

東日本大震災発生から5年を迎えた今年、被害を受けた地域の方々に心を寄せる意味をこめ、東北地方由来の館藏品玩具をご紹介します。

こけしをはじめとして、土人形や張子玩具など、形状や色使いに独特の趣がありお楽しみいただけます。あわせて、関西では目にする機会が少ないこけし製作実演を、間近でご覧いただくイベントを2回開催いたします。

## 2017年新春展

# 「紙で遊ぶ世界 ― 折紙とおもちゃ絵 ―」

会期：2017年1月5日(木)～2月27日(月)

身近な素材である紙を使った遊びの中から、幅広い年齢層が楽しめる造形として人気が高い「折紙」と浮世絵版画の一分野「おもちゃ絵」をご紹介します。

「折紙」は“包む”という役割が儀礼用として発達し、その後江戸期に生まれた遊戯折紙が、明治期以降は幼児教育と結びついて今日に続きます。「おもちゃ絵」は子どもが切り貼りして遊ぶ、現代の雑誌付録のようなものです。双方に共通する紙の柔らかな風合いを感じ取っていただきたいと思います。



新版猫の玉乃り 歌川国政(五代)大判一枚 明治28(1895)年

世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学附属

# 天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

開館時間：午前9時30分～午後4時30分  
(入館は午後4時まで)

入館料：大人400円/団体(20名以上)300円

小・中学生200円(学校単位の団体無料・要事前申込)

※障がい者とその介護者各1名は無料となります。

天理参考館  
ウェブサイト

